



着任のごあいさつ

日本銀行旭川事務所長の任を受け、この6月に着任しました佐藤と申します。これから毎月、文章を投稿することとなりました。よろしくお願いいたします。

日本銀行旭川事務所は1946年8月に開設され、来年80周年を迎えます。業務区域は道北の上川・宗谷・オホーツクの3つの総合振興局となります。事務所の主な仕事

は、取引先金融機関との銀行券の授受（安心・安全でクリーンなお札を地域経済に流通させる機能）や、地域の金融・経済に関する調査、金融経済教育に関する事務などです。このコラムでは、こうした事務所の活動を通じて得た情報も踏まえながら、地域に関係する様々な情報を発信していきたいと思っています。

旭川での最初の週末に、引越荷物の荷ほどきも殆ど手つかずの中、転勤疲れの癒しを求めて旭山動物園を訪れました。動物たちの動きを透明なガラス越しに迫力満点で楽しめる仕掛けを始めて、もぐもぐタイムや、飼育員の皆さんの動物愛あふれる手書きのポップ、飼育員さんが飼育舎の外に動物を連れ出して解説するイベントなどを通じて、動物たちをとても身近に感じながら楽しむことができました。

特に印象深かったのは、飼育員さんが解説実演してくれたアオダイシヨウの捕食行動、ガラス越しに無邪気に遊ぶやんちゃ盛りの幼いチンパンジーでした。また、世界各国から来園者がたくさんいることにも驚きました。アニマルセラピーという言葉がありますが、動物を身近に感じて癒しを受けられる施設が市の近郊にある環境は素敵なことだと思います。とても割安な年間パスポートを購入したので、季節ごとに見た目や行動が異なる動物たちの姿を楽しみに、これからも定期的に継続して旭山動物園を訪れたいと考えています。

格設備投資、雇用などの評価を依頼し、その評価結果を取りまとめて公表しています。この道北地域では、38社の協力を頂いており、今回6月調査では、業況判断D-I（景気の状態が「良い」と回答した社数から「悪い」と回答した社数を引いて全回答社数で割った数値）が15、前回3月調査から14%ポイント改善しました。9月まで予測する先行きの業況判断D-Iは、小幅改善して、+16との予測となりました。全国（全産業）の業況判断D-Iと比べると6月は全国と同水準であり、先行き9月は全国が悪化を見込んでいることから、道北が全国の水準

を上回る見込みです。また、2025年度計画における設備投資額の前年比伸び率は20.8%と前年の投資額を上回る計画で、この伸び率も全国を上回る結果となりました。

明るい将来を示した今回の調査結果がこれからどのように推移していくか、地域企業や金融機関の皆さんとの情報交換や分析を重ねていきたいと思っています。なお、道北地域の短観の調査結果については、日本銀行旭川事務所のホームページ（<https://www.boj.or.jp/a/sahikawa/>）に資料を掲載していますので、興味を持たれた方は、是非、ご参照ください。（毎月第四週に掲載します）



【佐藤弘康（さとうひろやす）】1970年、宮城県出身。東北大学法学部卒。システム情報局企画役、決済機構局企画役、業務局企画役、発券局戸田発券課長を経て、2025年、旭川事務所長に就任。